

新型コロナワクチン接種

についてのお知らせ

問合せ 保健センター ☎294-5511 ㊚295-5850

令和5年度も新型コロナワクチンは、全ての人が無料で受けられます。なお、実施期間は令和6年3月31日まで延長されました。それぞれ時期により接種の対象者が異なっていますのでご注意ください。

12歳以上の人

- ①「令和4年秋開始接種」は5月7日(日)で終了します。「令和4年秋開始接種」を、令和4年10月から今までに1度も受けていない人で、「令和5年春開始接種」の対象(★)でない人(健常な12歳から64歳までの人)は、「令和4年秋開始接種」を希望される場合には、必ず5月7日までに接種してください。
- ②「令和5年春開始接種」は5月中旬頃から開始予定です。対象は下表の(★)の人です。

	5月7日まで	5月中旬～8月	9月以降
初回接種 (1・2回目接種) が終了した人	令和4年秋開始接種 オミクロン株ワクチンを未接種の人(昨年秋から1回も接種していない人)は、5月7日まで1回接種可能です。 送付してある接種券付予診票で受けてください。 ■接種場所 町内個別医療機関(直接申込み) オミクロン株対応2価ワクチン	令和5年春開始接種 ■対象(★) ・高齢者(65歳以上) ・基礎疾患を有する人(12歳～64歳) ・医療従事者など ※4月1日現在、申込みはまだできません。 ワクチンの供給量に合わせて高齢の人から接種券を発送します。接種券が届き次第予約可能です。 オミクロン株対応2価ワクチン 上記以外の方は、この期間は接種できません。	令和5年秋開始接種 初回接種(1・2回目接種)を終了した12歳以上の全ての人を対象です。 ※詳細は国の方針が決まり次第お知らせします。 使用するワクチンは検討中です
初回接種 (1・2回目接種) が終了していない人	初回接種(1・2回目接種)は令和6年3月31日まで可能です。 ■接種場所 初野医院、ハピネス会川角クリニック(直接申込み)		従来型ワクチン

小児(5歳から11歳まで)

	5月7日まで	5月8日～8月	9月以降
初回接種 (1・2回目接種) または追加接種 (3回目従来株ワクチン接種) が終了した人	追加接種として1回接種可能です。 ■接種場所 おっぺ小児科・アレルギー科クリニック、初野医院(直接申込み) オミクロン株対応2価ワクチン ※3月下旬から小児(5歳から11歳まで)の追加接種は、オミクロン株対応2価ワクチンに変わりました。	令和5年春開始接種 基礎疾患がある人はさらに1回追加接種可能です。 オミクロン株対応2価ワクチン	令和5年秋開始接種 初回接種(1・2回目接種)を終了した5歳から11歳までの全ての人を対象です。 ※詳細は国の方針が決まり次第お知らせします。 使用するワクチンは検討中です
初回接種 (1・2回目接種) が終了していない人	初回接種(1・2回目接種)は令和6年3月31日まで可能です。 ■接種場所 初野医院(直接申込み)		従来型ワクチン

乳幼児(生後6か月から4歳まで)

生後6か月から4歳のお子さんのワクチン接種についても特例臨時接種が延長されました。引き続き無料で接種が可能です。町から配られている接種券付予診票をお持ちの方はそのまま使用できます。

今後、対象となる生後6か月のお子さんには、対象月齢になり次第、接種券付予診票を発送します。

毛呂山町の新型コロナワクチン接種制度や接種方法・予約に関する相談

毛呂山町保健センター ☎294-5511

『毛呂山町小・中学校のあり方検討委員会』

を開催しました



問合せ 教育委員会教育総務課 ☎295-2112 ☎510 ✉ksoumu@town.moroyama.lg.jp

■これまでの経緯

毛呂山町教育委員会では、教育をめぐる課題を解決するため、平成30年度に「未来を拓く人づくり(小中一貫教育)プロジェクト基本方針」(以下、「プロジェクト基本方針」という)を策定しました。

このプロジェクト基本方針では、小中一貫教育を最も効果的に推進できる施設形態は、中学校区ごとの「施設一体型」小中一貫校とし、川角中学校区は令和8年度、毛呂山中学校区は令和10年度に、それぞれの中学校に小学校を2校ずつ集約することを目標としました。

ところが、ここ数年で小学校への35人学級の導入やコロナ禍による分散授業が推進されるようになり、あらためて教育に求められる施設環境を検討する必要が生じました。

そこで毛呂山町教育委員会では、「毛呂山町小・中学校のあり方検討委員会」(以下、「あり方検討委員会」という)を開催し、最も望ましい施設環境について委員から意見をいただくこととしました。

■あり方検討委員会の開催

委員の人数は、学識経験者、保護者、公募による町民など計24人。会議は、令和4年7月から令和5年1月まで計4回開催しました。

■あり方検討委員会委員の意見(抜粋 順不同)

- ・ 父母会のアンケート調査の結果から、次の2点について町へ強く要請する。学力向上はもちろんだが、子どもたちの安全を最優先にした教育環境としていただきたい。統廃合された場合、遠方となる子どもたちにはスクールバスの運行をお願いしたい。
- ・ 地域福祉の観点から今後を見据え、乳児からお年寄りなど、集える公共施設を隣接できないか。「地域共生社会」は子どもたちにとっても良いのではないか。
- ・ 子どもたちの社会性育成、学力向上、教員の負担軽減なども含め、施設一体型小中一貫校の実現が必要。保護者と子ども本人への情報周知と議論参加を促すべき。一貫校の施設や通学方法な

どの具体的な全体像が明らかにならないと比較検討できない。施設一体型は特に低学年の児童に負担がかかる。小学生と中学生は別の施設が良い。

・ 単年度の解消と施設の老朽化が優先されるべき。このことから、教育環境として施設一体型が望ましいと考える。

・ 一貫教育については賛成だが、地域の動揺などを考慮し現状の小中学校で一貫教育はできないか。

・ 財政の見通せないなかでは、将来的に毛呂山総合学校一つにするべき。中1ギャップや不登校の解消を目指した支援員の増員と、不登校特例校やフリースクールの開設を。小中一体型は先行事例に学び、グラウンドの別設置や相当の工夫が必要である。

・ 中学校に集約して教室が不足する時期は小学校のみを統合し、その間に準備し小中一貫校を実現できればと考えている。地域の人が訪問しやすい学校を願う。

・ 子どもたちの成長と、受けられる教育の質の向上を希望する。既存施設を活用した分離型を検討していただきたい。

■今後のスケジュール

毛呂山町教育委員会では、あり方検討委員会内で交わされた意見を受け、今後の小中学校の編成を示す計画案を策定する予定です。この計画案を広報や町ホームページなどで周知するとともに説明会を開催し、パブリック・コメントなどを実施した後、令和5年度中に編成計画を決定していく予定です。

※町ホームページでは、あり方検討委員会委員の意見全文を掲載した資料を見ることができま



小学6年生の中学校体験授業